

愛知県豊川市

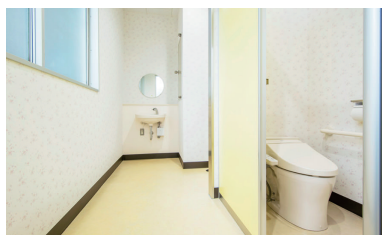
一宮西部小学校 東部小学校



入り口には大きく「みんなのトイレ」の表示。



「みんなのトイレ」にはオストメイトも設置されている。



花柄のクロスなどを採用し「自分の部屋」のような落ち着いた雰囲気を演出。L型手すり付きのブースには温水洗浄便座も完備。



「みんなのトイレ」のドアには、男の子と女の子のマークも入れてあり、児童が「自分たちも使っている」ということが一目でわかる。

性的マイノリティー(LGBT)にも配慮した「みんなのトイレ」

2016年4月、文部科学省は性的マイノリティー(以下LGBT)の児童生徒の対応に関する教職員向けパンフレット*を公表。学校トイレに関しては「職員トイレ・多目的トイレの使用を認める」を支援の事例として紹介しています。しかし多目的トイレがない学校は少なくありません。豊川市では、2016年度から5年計画で便器の洋式化率70%以上を目指し、改修工事を実施中ですが、災害対策とともにLGBTの子どもたちへの対応も視野に入れ、各校への多目的トイレの設置も進めています。「現場の先生方に聞いてみると

「LGBTかもしれないと思う子はいらる」という。ハードとして整えていく必要を感じました(同市教育委員会 塩野谷宜和さん)

一宮西部小学校では、特別支援教室のあるフロアに「みんなのトイレ」を設置しました。トイレ共通の入り口を入ると、右手に多目的トイレがあり、さらに奥には女子と男子のトイレがあります。廊下から見ても、どこのトイレに入ったかわからないように前室が



一宮西部小学校 柴田校長

一宮西部小学校

改修前 改修後

DATA
竣工年月/2017年2月
所在地/愛知県豊川市一宮町緑1
児童数/580名
(2017年4月現在)
主/豊川市
設計/CREBLE
施工/小山鉄工建設

前室を設けながらも、男女トイレそれぞれの入り口が狭くならないように配慮。

東部小学校の改修トイレ

東部小学校では保健室前に男女共用の個室完結トイレを設置。一般児童トイレからは離れた場所にあり、人目を気にせず安心して使うことができる。トイレのプレートには男女の絵が描かれ、男女どちらでも使えることを明示。

「LGBTかもしれないと思う子はいらる」という。ハードとして整えていく必要を感じました(同市教育委員会 塩野谷宜和さん)

一宮西部小学校では、特別支援教室のあるフロアに「みんなのトイレ」を設置しました。トイレ共通の入り口を入ると、右手に多目的トイレがあり、さらに奥には女子と男子のトイレがあります。廊下から見ても、どこのトイレに入ったかわからないように前室が

柴田斉子校長は、「LGBTは自分で気付いていない場合もある。このトイレができて、なんとなく不安だった子が『ほっとできた』と思ってくれたらうれしいです」と笑います。

*「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」